

第40回愛媛県教育会入選俳句

松山市祝谷町5-33 愛媛県教育会俳句募集係

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

(募集期間) 平成24年8月30日(木)～10月5日(金)

～～入選句は、「文教月報12月号」に掲載しています～～

一般の部 (県内在住の成人) 投句者26名 投句数52句

☆上原 白水 先生選

特選

稲刈りて藁の匂ひの母郷かな 松山市 増元千代子

優秀

盆帰省十一人の厨ごと 新居浜 永易まるみ

秋灯し食事処の縄のれん 宇和島 千葉城圓

佳作

点滴台押して夜涼の大廊下 四国中央 片岡照代

飯に酢を打ちて帰省の子を待てり 新居浜 印南秀克

散り遅れしバラーりんが秋をよぶ 西条 一色早苗

夏書して筆先乾く早さかな 今治 武田茂則

子燕の巣立ちし空の広さかな 今治 森ユキ子

春潮や岬回れば分教場 松山市 廣瀬幸一

面河溪水の底より暮るゝ秋 松山市 増元晶尚

庭隅に金木犀の香ほのか 東温市 渡部洋美

日に何度時計にらみて帰省待つ 八幡浜 谷本澄子

共に生く五十余年や桐の花 西予 兵頭 昇

☆近藤 良郷 先生選

特選

身巾だけ木戸開けて出る梅雨の間あい 松山市 山内久江

優秀

安心の顔向け妻の昼寝かな 西予 兵頭 昇

飯に酢を打ちて帰省の子を待てり 新居浜 印南秀克

佳作

無人駅線路の向こうに彼岸花 西条 高橋 和

夏書して筆先乾く早さかな 今治 武田茂則

子燕の巣立ちし空の広さかな 今治 森ユキ子

春潮や岬回れば分教場 松山市 廣瀬幸一

万緑や天守主峰のごとくあり
 山茂る朱塗りの宮の鎮まりて
 笑みながら老いはつるりと心天
 トロ解禁白日今より紙テープ
 唐突に逆縁の訃や虫すだく
 秋灯し食事処の縄のれん

松山市 増元千代子
 松山市 大木フク子
 伊予 神野正憲
 八幡浜 谷本澄子
 八幡浜 平家多鶴子
 宇和島 千葉城圓

ジュニアの部

(県内の小・中学生) 応募校 22校 投句数 655句

(校名右の数字は学年)

☆**高山 佳子 先生選**

特選

線こう花火きらきらドレスでおどってる 石井北小二 妹尾 愛純

優秀

さくらんぼフルーツポンチのちょうじょうに 船木小三 森 新平
 かんきせん回して通る秋の風 浅海小四 安永 空
 雷が竜となって舞いおる 東谷小五 宮内漱一丸

佳作

五月ばれダンス仲間とハイキング 金子小二 樋口 陽奈
 つばめの子パイパイ鳴くよ親をよぶ 惣開小四 近江源一郎
 夏空にすいこまれそうなロングパス 素鷲小四 瀧本 周平
 夕焼けや明日の空をうつしてる 素鷲小六 假水 茉文
 三兄弟大きなスイカもかわ一まい 生石小二 三河 瀬那
 ゆかた着て祖母の手を引き輪をくぐる 生石小六 今井 和
 夏祭りこっそりくれた五百円 味生第二小六 京下 隆登
 新しいボールおいかけ子どもの日 石井北小四 中村 柚希
 かぶとむしおるはずなのにおらんなあ 浅海小一 新梅桑二郎
 流れ星もっとおそく走ってよ 東谷小四 渡邊 光星
 草がゆれバツタがとんでまたゆれる 粟津小三 東 優菜
 愛犬が落ち葉のじゅうたん駆け抜ける 松蔭小六 門田 航
 春の夢いいところで起こされた 九町小五 菊池 紅緒
 秋日和リズムにのってピアノひく 中浦小四 清水ことね
 雨上がりあじさいの葉に光る粒 八代中三 萩森 望

☆池田 尊之 先生選

特 選

立春やオレンジ色のランドセル

高津小三 藤井 遥帆

優 秀

弟とせ中ごしごし夏の夜

素鷲小三 山口 陽成

かにさがしじいちゃんぼくよりどろだらけ

生石小二 金浦 正宗

秋の色あの子を見ている君のほほ

八代中一 阿部 美奈

佳 作

ちるもみじおもてを見せてうらを見せ

泉川小三 住吉ひなた

かっている金魚もさわぐひどい雨

素鷲小三 菊池 光

もう少しのぼした手の先かぶと虫

素鷲小三 谷尾 有人

雨あがりくきをかき分けみょうがの子

生石小六 富樫 亮介

金魚すくい目の色変わる一分間

味生第二小六 宮崎 太郎

運動会本気のしるしひざの傷

味生第二小六 政岡 亜美

水たまりぼやけてうつるつゆの空

石井北小六 近藤 陽菜

水ぬるむめだかが二ひき泳いでる

栗井小三 林 美紗

剣道の試合横切る赤とんぼ

浅海小四 田中亮太郎

すいか食べしょんぼり一人たねとぼし

東谷小三 杉原 巧紀

ぼくの手がいいにおいする茶もみかな

仕七川小四 小椋 旭

ぎんなんのにおいといっしょに音楽会

栗津小五 大谷 優奈

すずむしのこえにあわせてピアノひく

松蔭小一 太田 宗隆

梨はまだ酸っぱい甘いの当たりつき

九町小四 尾上 新太

めじかつり船と魚のひっぱり合い

石応小三 矢野 翔英